

- 2018.06.24 スポーツ委員会議事録
- 場所：川崎 カルツかわさき 中会議室
- 時間：09：30～16：00
- 参加者：飯盛、佐々木、江田、中口、太田、新膳、竹澤、野上（敬称略）

★：アクションアイテム

- 2019年日本選手権について
  - ・渡良瀬、佐久に確認中
  - ・佐久が3日間の開催でよいか？ 2フライト3タスクで決める
    - 渡良瀬の状況を確認 主催者に確認⇒難しい
    - 6月一杯まで立候補を待つ
    - その後、渡良瀬と佐久に目途が立ちそうなら7月末まで待つ
  - ・渡良瀬と佐久が立候補しない場合は日本選手権は無し
    - （2016年は市長杯、2017年も2月まで決まらなかった
    - 2018年も佐賀に依頼）
  - ・日本選手権を開催する側の負担は？
    - 日程を伸ばした場合負担
    - どこまでやるかという話
    - 日本選手権なんだから、という気持ちの負担が大きいという意見も。
    - 一関での開催は？ NRSの登録は無い。
  - ★告知はもう一回する
  - ・2020年はどうするか？ 同じ話になる
    - 佐久が出てもらえる？ 上土幌？
  - ・日本選手権のメリット 人が集まる
  - ・NRS登録大会の足切りについての議論
    - グランプリエントリーをしないと出られない大会について
    - 事前に告知があれば、足切りも良いのでは？
    - 例えば、グランプリの告知と同時の年度の始めに足切りの告知をすれば良いのでは。
  - ・NRS大会が少ない ★増やすためにはグランプリにお願いするのも有りか⇒一関？
  - ・元々、NRSの大会は10名いれば大丈夫という考え
  - ・市長杯はなぜNRS登録しなかった？ 主催者の考え次第
    - 以前は佐賀で世界選手権があったので
  - ・NRS登録することによるデメリット 大会側が負担に感じる 若葉杯の枠が減る
    - 出場する層が変わってしまう
  - ・12月の風、大崎の大会は？ オブザーバーが付く大会では無い

## ■トロフィーの名前を記入するスペース不足について

- ・3面が次で埋まる

案1：古いネームプレートを箱に貼る 新しいネームプレートを付ける

案2：台座を替える

◎案3：ネームプレートを張り替える 10名×2名×3プレート=60回分（現状33回分）

第4：トロフィーごと新しくする

★案3. ネームプレートについて、須江さんに確認、スポーツ委員会から理事会に提案  
古いプレートはオークション？ミュージアムに寄贈？ ★理事会で確認

## ■ワールドエアゲーム（WAG）について

- ・トルコでWAG、スロベニアで世界選手権
- ・2018年、2019年の結果を使って、選考になるのか？
- ・世界選手権にたいして選考方法を変えるか？
- ・WAGはチーム戦になる可能性がある。  
複数機での大会 例えば、それぞれ別の位置にマーカーを投げて採点など  
チームとして募集するのか？単独？  
大会側の選考方法は？アナウンスが出てからしか決まらない。  
過去は大会側から個人に招待があった。  
CAT1は国（NAC）を通す必要がある？CAT1ではない。  
（ワールドランキングは選考に使わない、という記載がある しかし、ドバイは使った）
- ・スポーツ員会としては、詳細は大会の情報が出てから決める。  
例えば、チームリーダーが出場者を決める等。

## ■大会予定

Women（8月6～11日）とジュニア（9月11～16日）はポーランド  
世界選手権・オーストリア（8月18から26日） ゴードンベネット・スイス（9月27～10月6日）

## ■チャレンジ規定等の整備

- ・チャレンジ規定をもっと活性化させるには
  - ・途中経過を出す  
ローカル大会の結果が無い 公認大会の報告書に結果がついている 内容を確認  
秋のシーズンの前に
  - ・賞品 熱気球 ロング：ステンドグラス（青木さん） 予算1万円  
タイムチャレンジ：陶器（橋本さん） 予算1万円

マーカーチャレンジ：陶器（橋本さん）⇒クラフト（新膳さん） 予算1万円

ガス気球 ロングorタイム（記録が更新された場合、授与）：予算1万5千円（二人分）

AA6 33時間55分 距離494.86 km（1000m<sup>3</sup>）

AA7 37時間39分 距離1187.3 km

オブザーバーチャレンジ（大会タスク数 オブザーバー登録証のコピーを提出）  
：刺繍（江川さん） 予算5千円

オブザーバーのタスク数 公認に限らず 海外の記録も有り

★記入例のフォーマットを作って、HPに保存

・締め切り（適応範囲：年始から年末まで 申請の締め切り：翌年1/10）

・オブザーバーチャレンジ モチーフは？ オブザーバーバック 佐賀の写真

★担当：竹澤 予算：5千円～1万円（予算は合計5万円）

・マーカーチャレンジが複数名出た場合は？ 一人に絞る？ 複数にするのか？ 一人にする。

抽選？ 最後に出した人が優先。

・オブザーバーチャレンジ 同点の場合、フライト数、大会数が多い方が優先。

★HPにチャレンジの項目を追加

・ログマーカーの取り扱いは？ 0cmは出る 50cmの四捨五入 1mごとの切り上げ

結果は入れるが、0cmでも1m 例：1m10cmなら1m

マーカーチャレンジは規定通り日本の大会のみ

・記録飛行年間表彰規定改定案については、別紙参照

#### ■オブザーバー講習会のマーカー

・荒井さんがオブザーバー講習会向けにマーカーが欲しいという話

何個購入するか？ 毎回貸し出して返却？ 貸出なら送料の負担はどうするか？

オブザーバー講習会キットのようなものが無いのか？

SIBFOや佐賀のパイロット協会は持っている

⇒★購入はせず。今後のことも考慮して、パイロット協会に借りて渡す案で交渉してみる

（追記） スポーツ委員会がマーカーを持たない。

飯盛委員長が佐賀パイロット協会と話して貸し出し体制作りました。

ほかのオブザーバーキットも必要あれば講習会の為に貸し出し仲介可能となった。

#### ■上級オブザーバー筆記試験

・イグザミナーが試験をやってくれていた

安全委員会がスポーツ委員会向けにテスト問題をつくってくれた（3セット）

その運用をどのようにするか？

- ペーパーテストをスポーツ委員会で行うことについて  
行うことは賛成。
- ペーパーテストの回収など運用について  
内容はパイロット向けと同じ  
合格基準は90点  
どのように勉強するかは、Pu/tと同じ  
問題は回収する  
パイロットは試験免除  
試験はイグザミネーターが行う？（追記）スポーツ委員会が中心に行う。  
イグザミネーターが好意で行っていただく場合も可。
- ★告知 安全委員会向け：竹澤さん オブザーバー講師向け：新膳さん
- 本日より施行

#### ■上級オブザーバー講習会

- 開催は参加メンバー次第。予算はある。
- 近年は二回実施（佐賀・東京）
- 現在、クラスAは24名（そのうち連盟会員期限切れが9名）
- 過去から講習会は開かれていた

#### ■連盟ホームページの更新

- ★オブザーバー関連（講習会の日程、筆記試験の取り扱い、機材貸出の案内）
- ★パイバル計測器（写真、使用料を表示）
- ★COHをもっと上に
- ★日本選手権の結果をアップ
- ★チャレンジの項目を追加

以上